

## 海を見ながらの宮島ビール



宮島で初の地ビール醸造所「宮島ブルワリー」を平成29年11月に開業した、(株)宮島ビールの最高経営責任者(CEO)有本茂樹さん。宮島の老舗旅館の跡取りとして宮島で生まれ育ちました。19代目である父が他界した後、旅館は継がず、東京でサラリーマンになる道を選択しました。よほどのことが無ければ帰らなくなっていた宮島。29歳のとき、仕事で駐在したシドニーで、日本行きの旅行パンフレットに宮島が大きく載っているのを見かけ、「自分はこんなに有名なところで育ったんだ」と、故郷への見方が変わった瞬間だったと有本さんは語ります。「帰国し、40



宮島ブルワリーで飲むことができる宮島ビール(樽生)。缶・瓶ビールはお土産にも。

歳頃から故郷を恋しく思ふ気持ちがだんだん強くなっていきました。勤めていた会社を退職し、先祖代々受け継いできた旅館の跡地を有効活用しようと考えたとき、「海を見てビールを飲んだら美味しいだろうな」と思いました」と、宮島ブルワリーが開業するまでの道のりを語ってくれました。

### ビール造りの難しさ

起業から7年半、理想のビールの味をなかなか実現することができず苦しました。「自分が作りたいビールと他の人の好みとの間に、どうしてもギャップが生まれてしまします。しかし、美味しいかどうかはお客さんが決めること。お店の役割は、心地よい雰囲気を作り、お客さん同士の会話を弾んで、気持ち良く過ごしてもらう環境を提供することだと考えています」。季節や一緒に食べる料理でお客さんの好みも変わっていくため、



上の2次元コードを読み込むと市公式ホームページに飛びます。有本さんのインタビュー動画を、1月1日祝に掲載しますので、ぜひご覧ください。



有本茂樹さん(右)、山下陽子さん(真ん中)、ビール造り修行中のジョージ・ダルニーさん(左)

### 宮島で愛される場所に

店を手伝う妹の陽子さんとハンガリー出身のジョージさんが笑顔で接客する店内には優しい空気が流れています。

有本さんは、「宮島の人にもっとお店に来てもらい、ビールを飲んで、観光客と触れ合ってもらえたらしいな」と思います。世界的有名な宮島で、観光客はもちろん、宮島の人たちにも親しまれ、愛される場所にしていきたいです」と、今後の展望を語ってくれました。

今が100均と思わず、常に新しい成長の余地があるはずだと思っているそうです。

## 編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年も「広報はつかいち」をよろしくお願いします。一年の初めに目標を立てる人も多いと思いますが、私もその一人です。「小さなことを積み重ねるのが、なんでもない」といふにたゞり着く、ただひとつ道」という私の好きな言葉があります。急に大きな目標を達成することはできませんが、目の前の小さないと続けることが大切だと思っています。自ららしく、背伸びしないで、できるこどをコツコツと取り組んでいきたいです。

西岡秀治  
新年明けましておめでとうございます。前年の酉(酉)は「撫ぬ」意味から豊年の年、戌(いぬ)は収穫後の守りの一年と言われるそうです。昨年4月に入院して、環境が一変し、めまぐるしく過ぎた一年でした。学びに感謝し、吸収したことをしてから自分の力にして一日一日を大切に過ごす一年にしたいと思います。

vol.25

廿日市市で輝く人を紹介します

ありもと しげ き

有本 茂樹さん (52歳／宮島口)

# はつかいら人

株式会社宮島ビール

## 人のうごき

前月比

総人口 117,652人 (+62)

男 56,506人 (+19)

女 61,146人 (+43)

世帯 51,571世帯 (+66)

(平成29年12月1日現在、外国人を含む)